

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体			
堺区子育てつながるプロジェクト				堺区役所 堺保健福祉総合センター 子育て支援課			
事業目的		事業効果		活動指標	R4	R5	R6
地域の子育て支援活動に子育て家庭を繋げていくことを目的に、『堺保健センター』及びジョルノビル 3 階にある『さかいっこひろば』との連携・協働を当課の支援事業の中心に位置づける。また、これらの事業に地域の子育て支援活動者の参加を進めていくことで、より身近で支援を受けられる各校区の子育て支援活動に子育て家庭を繋げていく。		・子育て中の親子が交流し、互いに支え合う場となる（子育て家庭同士のつながり） ・保護者が安心して子育てができることで、親子の愛情が深まる（親子のつながり） ・地域の子育て資源（子育てサロン・サークル、みんなの子育てひろば、保育施設の園庭開放等）に関する情報をわかりやすく提供をすることで、身近にある地域の子育て資源の利用につながる（地域とのつながり） ・行政等関係機関から子育てに関する相談対応や情報提供を行うことで、子育て家庭が関係機関に対し、気軽に相談できる関係を築くことができる（相談機関とのつながり）		実施回数 参加者数	○オンライン事業 8回（計32組） ○さかいっこひろば主催事業7回（計36組） ○さかいっこひろば訪問事業（合計209組） ○堺保健センター訪問事業（計18回） ○みんなの子育てひろば等支援（計10 回） ○その他子育て支援事業5回実施（計55組）	○オンライン事業 2回（計20組） ○さかいっこひろば主催事業6回（計36組） ○さかいっこひろば訪問事業（合計208組） ○堺保健センター訪問事業（計35回） ○みんなの子育てひろば等支援（計29回） ○その他子育て支援事業14回実施（計185組）	○オンライン事業1回（計10組） ○さかいっこひろば主催事業4回（計30組） ○さかいっこひろば訪問事業（計356組） ○堺保健センター訪問事業36回 ○みんなの子育てひろば等支援等（計32回） ○その他子育て支援事業15回（計164組）
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	堺区は他区に比べ転入家庭が多く、親族等支援者が身近にいない家庭も多い。子育て世帯が孤立せず、安心して子育てができるように、地域での相談やサービス利用の機会を今後も作っていく必要がある。	○	『さかいっこひろば』と協働し、身体計測、子育て講座等を実施している。また、子育て家庭に子育てサロン・サークルの周知をするために、地域を限定した子育てイベント「まちこどもスマイルDAY」を開催。そこに子育てサークル・サロンの他、堺保健センター、子育てアドバイザー、児童発達支援事業所、公立こども園、社会福祉協議会も参加し情報提供を行ってもらった。	△	堺市の子育て支援施設としての『さかいっこひろば』と今後も連携して実施していくことで堺区のアピールにつなげていく。	○	保育園入園申請に向けての手続きや準備の仕方について、オンラインにて講座を実施した。産後間もない保護者もアクセスしやすく、開催する側も大きな会場の確保や会場準備の必要はなく効率的に実施できる。チャット機能を活かし、質疑応答もスムーズに行った。
⑤自立発展性		総合評価					
○	地域と子育て家庭をつなぐために、スマイル訪問でのサークル・サロンの紹介やまちこどもスマイルDAYの開催等、住んでいる地域で地域による子育てが実施できるように支援している。	○	『さかいっこひろば』への毎月の訪問事業は定着し、参加者の人数も増加しており、気軽に専門職に相談できる機会となっている。今年度は、子育て応援MAPも作成し、地域の資源をわかりやすく説明できるようにした。地域と保護者の関係をつなぐことを目的に、地域や各関係機関と協働し、まちこどもスマイルDAYを今年度も実施し、今年度で堺区の全小学校区で実施できた。アンケート結果でも、市民と地域の両者から大変好評を得ることができた。保護者同士の交流の機会を増やし、ピアサポート、育児疲れの回復の機会になるように務めた。				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
拡充 継続 見直し 廃止	『さかいっこひろば』での毎月の1回の訪問事業（身体計測）は多数の親子連れの参加があった。乳幼児期のこどもの身体計測を行いながら、それをきっかけに相談につながり、気軽に相談できる機会として定着しているため、継続していく。堺保健センターとの連携では、4カ月健診や堺保健センターが行っている事業に当課の職員が訪問し、保育園申請についてやサークル・サロン等の子育て情報の案内、育児の楽しさを知ってもらう機会の提供を行った。少し聞きたいというニーズに答えることできている。 ピアサポート事業では、色々な内容の講座の前後で保護者同士で交流会をする機会を作り、同じ悩みを持っていることが共有でき、不安の解消つながるように支援をした。今後は保護者同士の交流はもちろん、こどもとのかかわり方について知ってもらえるような取り組みをしていきたい。 子育てサークル・サロンに訪問し、参加親子や運営スタッフへの支援、ピアサポート事業等での子育てサークル・サロンの周知は引き続き行っていきたい。 育児の協力者がいない世帯が利用できる育児支援ヘルパーや産後ケア事業等のサービスの申請が増加している。子育て世帯が孤立せず、安心して楽しく子育てができるように支援していく。						